令和元年度　学校評価結果報告

田村市立要田小学校

観点	経営目標	評価項目	自己評価					学校関係者評価（コメント）	改善計画
			評価アンケート			評価	取り組みの状況		
			教職員	児童	保護者				
学校運営	地域と共にある学校づくり	1　積極的な情報公開	88	94	91	A	学校ホームページを毎日更新し、学校での児童の様子を積極的に保護者や地域の人々に伝えた。	動画による記事など見ていて楽しい。今後も続けてほしい。	地域に開かれた教育課程をめざし、地域の人々を巻き込んで教育が進められるようにする。
		2　保護者・地域住民の声や願いに応える教育	88	90	91	A			
	安全・安心な学校づくり	3　安全管理・安全教育	94	96	91	A	安全管理・安全教育については評価が高かった。学校へ行くのが楽しみではないと答えている児童が数名いた。	家庭で虐待をうけてうる子どもなどもいないか、よく見ておいてほしい。	交通教室・防犯教室・避難訓練等をさらに充実させ、防犯意識や危険回避能力を高めていく。
		4　毎日行くのが楽しみな学校	89	85	89	B			
進んで学ぶ子	基礎学力の定着・学力向上	5　基礎学力の定着及び学力向上	86	96	91	A	漢字チャレンジテストを定期的に行い、定着を図った。今後も教員の授業改善を進めていかなければならない。	プログラミング教育などにも積極的に取り組んでいるのがよい。	学年の発達段階に応じて計画的・系統的にプログラミング教育が行えるようにする。
		6　国際理解・情報・環境に関する教育等の充実	84	93	90	A			
	個に応じた指導の充実・学習の習慣化	7　子どもの個性を適切に評価	89	97	90	A	児童の優れているところを適切に評価し褒めることにより、自信をつけさせ、やる気につなげることができた。	タブレットを効果的につかって授業が進められている。	家庭学習スタンダードを活用し、自学なども取り入れながら家庭学習の充実を図る。
		8　家庭学習の習慣化	86	90	85	B			
思いやりのある子	いじめ・不登校のない学校づくり・教育相談の充実	9　道徳教育の充実・豊かな心の育成	91	90	93	A	アンケートで９０点を超える高い評価だった。職員をあげていじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めた。	卒業後、大きい中学校でやっていけるように、慣れるための取り組みが必要。	現在の取り組みを継続する。道徳科の授業の質をさらに高めていく。
		11 いじめ等のない楽しい学校作り	97	97	93	A			
		10 子どもや保護者の悩みに親身になって対応	92	91	88	A	児童にとって一番身近な担任に相談しやすい、相談できる関係を作っていかなければならない。	不登校・登校渋り・ひきこもりなどにならないように、子どもをよく見て欲しい。	担任に直接話しづらい内容については、養護教諭や他の教職員に相談できる体制を構築する。
		12 すぐに相談できる関係づくり	97	69	88	B			
がんばる子	体力の向上・基本的生活習慣の定着	13 体力・運動能力の育成	91	97	90	A	身体づくりプログラムを授業に組み込み、基礎的な能力の定着を図った。	運動会の種目に工夫が見られ、小規模校の良さが出ていた。玉を投げる技能を高めたい。	自己の目標を具体的に持たせ、目標達成に向けて最後までやり抜くよう支援する。
		14 基本的な生活習慣の定着	91	84	87	B			
田村っ子のルール10	礼儀、元気なあいさつ	① あいさつをしよう	89	91	84	B	あいさつ日本一の学校を目指しているが、最近声が小さくなってきている。	学校よりも家庭でのしつけが重要な内容となっている。保護者や地域住民などの立場からも全体で子どもを育てていきたい。	あいさつが上手な児童を賞賛し、手本にして全体がよくなるようにする。
		② はっきりとした声で返事をしよう	83	90	79	B			
		③「ありがとう」と言おう	83	94	82	B			
	素直な心	④ 素直にあやまろう	86	91	74	B	道徳科の授業を通して、素直な心の大切さについて話し合う活動を行った。		すぐに結果が出にくいため、次年度へ継続しつつ、結果分析を行う。
		⑥ うそはつかない	78	95	84	B			
		⑦ 相手の目を見て話そう	81	90	86	B			
	規範意識	⑤ きちんとかたづけよう	67	89	62	B	児童の自己評価に比べ、教師・保護者の評価が低い傾向が見られる。ずれのさらなる分析が必要。		学校生活の様々な場面で、機会をとらえ指導していく。
		⑧ 時間を守ろう	89	90	68	B			
		⑩ はきものをそろえよう	97	97	63	B			
	個性の尊重・人権意識の向上	⑨ 相手のいいところを見つけよう	84	85	81	B	帰りの会などで、がんばっている友達を紹介し合う活動を取り入れた。		互いに励まし合う活動を取り入れ、事項有用感を高められるようにする。

※評価基準について・・・　A:90点以上　B：60～90点　C:30～60点　D:30点未満